

を注意してはペスタロッチと云ふ字を讀み歩きま
したがなかく見あたらなかつたのです。雪はます
ます深くなる、寒さは寒し途方にくれた時雪をかい
てゐる除雪夫といふ様な人に出逢たので理を話す
とその人夫はわざ／＼雪道の中を遠まわりして夫人
のお墓へ案内してくれました。そこで私共東洋人二
人が墓前に恭しく敬禮をするとかの人夫は「あなた
方は如何なる人か」と問ひましたから私共は東洋の
教育者で、ペスタロッチ先生の徳を慕てお参りに來
ましたと答へると人夫は帽子をとつて私達に丁寧
に敬禮して去りました、私共は其の質朴さと、今日
の参詣の意味を聞いて敬意を拂て行たその飾りなき
眞純さをまことに嬉しく感じたのであります。

私の歐米旅行中ある友人は手紙をよせて「お寺参
りはあまりするなよ」と云ふてくれましたが、事實
歐洲へ行くとお寺参りをせねば見物する處がないと
いふ位であります但其多くは文學藝術に關して新知
識を與へられるのであつて、あまりに高崇な念とか
確き信仰とかいふ觀念にはふれがたいおそれのある
にもかゝらはらず此の雪降りしきるエベルトンに大教
育者の跡を訪ひ温情あふるゝばかりの記念像に對し

「人の爲にすべてを、我が爲に何物をも持たず」と云
ふ句を讀んだ時は實に無量の嬉しさと恐ろしさの感
じを抱いたのであります。(文責記者)

ぶらんこ

ぶらんこほしい

春の森

ぶらんこ吊つては

ならぬ森

ぶらんこ揺れば

鳥が飛ぶ

ぶらんことまれば

花が散る

ぶらんこほしい

春の森

ぶらんこ揺れば

春がゆく。

(「れむの搖籃」より)